

# 放課後等デイサービス オレンジスクール 支援プログラム

公表日 2025年9月1日

オレンジスクール つくば教室

法人（事業所）理念		将来の「自立」を見据えた支援			
支援方針		・ 安心できる環境の中で、自身で選択し、自己表現できるようになる			
		・ 活動を通して他者と良好な関係を築くためのコミュニケーションが身につく			
		・ 課題を解決する経験を積むことで自分でできることは自分でやる姿勢を身に付ける			
事業所で実施している支援例					
本人支援	健康・生活	・ 時間を意識した行動をとれるよう、タイマーや声掛けをおこなう			
		・ 見通しをもって行動できるよう、予定表を使い活動内容や時間を事前に決める			
		・ 活動を切り替えるときに片づけを促し、職員も清潔な環境を提供する			
		・ 来所時に手洗いうがいを実施、汚れているときには自ら清潔に保つよう促す			
	運動・感覚	・ 指先の運動能力が向上するよう、創作活動を通してさまざまな工作作業を提供する			
		・ 日常で使う物に実際に触れることで使える道具を増やしていく（例：電卓、メジャー、温度計など）			
		・ 様々な感触に触れて触覚を鍛えていく機会を提供する（例：スクイーズ、スライム、ッシュポップなど）			
	認知・行動	・ 鉛筆や消しゴム等の文房具や玩具を扱う際の適切な力加減への指導を行う			
		・ 「できた！」を実感できるよう、スモールステップで課題の難易度を上げる			
		・ 実感を伴って理解していけるよう、ネットや具体物（実物）など、身近な物をたくさん利用していく			
・ 失敗したことへの気持ちの切り替え方を伝えていく					
言語コミュニケーション	・ 目の前の学習に集中して取り組めた経験を増やせるよう、席や意図的な刺激（背中をさす）などをおこなう				
	・ 自身の体力をコントロールできるよう、観察と本人からの聞き取りをおこなう				
	・ 口頭での言葉が理解できるよう、口頭での出題形式する教材を提供する				
人間関係・社会性	・ 特徴に合わせて、気持ちの言葉や単語の分類、時制など、単語をさまざまな側面で切り取って、教材にしている				
	・ 相手に伝わりやすい説明が言えたり、書けるよう、説明する際のルール（文字数、必須事項など）を伝える				
	・ 会話のキャッチボールが行えるよう、他者とのコミュニケーションの際に言葉の橋渡し支援をおこなう				
	・ 自身と他者のペースがあることを理解できるよう、他者と協力する活動をおこなう				
家族支援		・ イライラや不安な気持ちを表現し、発散方法を一緒に考えていく			
移行支援		・ 不規則な変化に対して「まあいいか」が言えるよう、教材や活動の中で起きた小さな出来事から本人と対応を考えていく			
地域支援・地域連携		・ 他者と関わりがより良好で豊かになるよう、SSTワークを使用する			
家族支援		・ ご家庭での気掛かりなことに対し、一緒に情報を集め、一緒に検証していく。			
移行支援		・ 成長段階の合わせての親子のあり方（接し方や理解の仕方など）を一緒に考えていく。			
地域支援・地域連携		・ 必要に応じて本人の日常の様子や発達の段階について確認し、支援の方向性の共有を図る			
地域支援・地域連携		・ 社内研修を定期的実施（虐待防止・身体拘束適正化研修、災害対策・業務継続計画研修、BCP（感染症）研修、意思決定支援・人権擁護研修、ハラスメント防止研修、個人情報保護研修、BCP（災害）研修など）			
地域支援・地域連携		・ 必要に応じて社外研修への参加を行っている。			
職員の質の向上		・ 社内研修を定期的実施（虐待防止・身体拘束適正化研修、災害対策・業務継続計画研修、BCP（感染症）研修、意思決定支援・人権擁護研修、ハラスメント防止研修、個人情報保護研修、BCP（災害）研修など）			
職員の質の向上		・ 必要に応じて社外研修への参加を行っている。			
主な行事等		創作活動（毎月1回実施）、地域活動（毎年2回実施）			
営業時間		平日	14時30分～18時30分	学校休業日	9時30分～15時30分
送迎		なし			

☆上記内容以外にも、お子さまの状況に合わせた支援プログラムを随時検討・実施しております